

平成 30 年度の保健事業について

1 健康診査

- ・生活習慣病の早期発見、早期治療につなげる事業。
- ・医療機関における個別健診と市町村が行う集団検診（特定健診）での実施。
（集団健診実施の市町村数 H29 年度：27 市町村、H30 年度：29 市町村）
- ・H31 年度から、生活習慣病治療中の方も受診できるよう準備を行う。

| H28 年度 | | H29 年度 | | H30 年度目標値 |
|----------|------|----------|------|-----------|
| 受診者数 | 受診率 | 受診者数 | 受診率※ | 受診率 |
| 33,514 人 | 5.3% | 34,399 人 | 5.3% | 前年度以上 |

※参考：福岡広域独自調査による全国平均受診率 22.4%

2 歯科健診

- ・口腔機能低下を防止する事業。
- ・H30 年度からの新規事業。
- ・76 歳の被保険者を対象に、医療機関における個別健診を実施。
H32 年度までは、対象者以外の希望者も受診が可能としている。

| |
|-----------|
| H30 年度目標値 |
| 受診率 |
| 10% |

※参考：同等の対象者（76 歳の被保険者）である 13 広域の平均受診率 11.2%

3 健診結果フォローアップ事業

- ・重症度が高く、医療機関未受診の者に 1 回の保健指導を行う事業。
- ・H28 年度から、市町村委託による実施と、業者委託による実施の 2 本立てでモデル事業として開始し、全県下において事業を実施。（H29 年度は、市町村実施のみ）
- ・H31 年度以降も引き続き市町村による実施を呼びかけていく。

| 事業実績 | H28 年度 | H29 年度 | H30 年度 |
|---------|--------|--------|-----------|
| 受託市町村数 | 13 市町村 | 13 市町村 | 14 市町村 |
| 市町村実施人数 | 40 人 | 37 人 | 目標値：前年度以上 |
| 業者実施人数 | 150 人 | — | 200 人（予定） |

4 糖尿病性腎症重症化予防事業

- ・糖尿病性腎症等で人工透析導入前段階にある者について、主治医に保健指導計画の確認を受け、6 箇月の継続した保健指導を行う事業。

- ・平成 28 年度から、市町村委託による実施と、本広域連合の嘱託保健師による実施の 2 本立てで事業を実施。

| 事業実績 | H28 年度 | H29 年度 | H30 年度 |
|----------------|--------|--------|----------|
| 受託市町村数 | 5 市町村 | 10 市町村 | 11 市町村 |
| 市町村実施人数 | 4 人 | 9 人 | 目標値：40 人 |
| 広域連合及び在宅保健師実施数 | 14 人 | 24 人 | |

※実施数は、フォローアップ対象者を除く新規対象者

- ・平成 30 年度も同様に実施する。市町村に対し実施の呼びかけを行っているが、県下全域の実施には至っていない。

5 訪問健康相談事業（重複・多受診者訪問指導）

- ・ひと月に同一疾病で複数の医療機関を受診している者（重複受診者）及びひと月に 3 箇所以上の医療機関を受診している者（多受診者）に対し、適正受診の指導を行う事業。
- ・平成 24 年度からの業者委託による実施に、平成 27 年度から市町村委託による実施を加え、全県下において事業を実施。
- ・平成 30 年度は、健康被害の防止という観点から、頻回多受診者から重複多受診者の抽出へと変更した。また、平成 30 年度の途中から KDB システムで重複服薬の状況が把握出来るようになるため、当該データを活用した訪問指導等も検討していく予定である。

| 事業実績 | H28 年度 | H29 年度 | H30 年度 |
|---------|---------|--------|-----------|
| 受託市町村数 | 5 市町村 | 6 市町村 | 6 市町村 |
| 市町村実施人数 | 40 人 | 89 人 | 目標値：前年度以上 |
| 業者実施人数 | 1,299 人 | 150 人 | |

6 ジェネリック医薬品普及促進啓発事業

- ・ジェネリック医薬品希望カードの配布。
- ・ジェネリック医薬品利用案内通知の送付。
平成 27 年度から利用案内通知にジェネリックに切り替えた場合の差額を記載している。（従来は、切り替えた場合の減額率を記載。）
- ・今後も同様に実施する。

H30.3 月診療分 数量ベース 70.6%

※全国目標：H32.9 月までに 80%

7 健康長寿増進事業

- 健康長寿講演会事業

市町村が開催するイベントに広域連合が契約している講師7名を派遣する事業。

| 事業実績 | H28 年度 | H29 年度 | H30 年度 |
|------|--------|--------|----------|
| 実施回数 | 39 回 | 23 回 | 30 回（予定） |

- 健康長寿特別講演会

H30 年 9 月 28 日（金）アクロス福岡 13 時 30 分～15 時 30 分

内容：ロコモ予防講習

特別講演「平穏死～10 の条件～」長尾クリニック院長 長尾 和宏氏

- 健康長寿ダイアリーの配付

健康長寿ダイアリーを使って、毎日の健康法の実践を呼びかけている。

より使いやすくするため、H29 年度にダイアリーの内容及びデザインを変更した。

8 その他啓発事業

- 残薬バッグ（お薬相談バッグ）の配布

自宅に残っている薬を残薬バックに入れ薬局に持参し、薬剤師に相談してもらう。訪問健康相談事業にて配付するとともに、各市区町村の窓口に配置し被保険者に配布する。

- 特別講演会 石飛幸三氏 特別講演録の配布

各市区町村の窓口に配置し被保険者に配布する。「健康長寿だより」で被保険者への周知を行った。

9 「高齢者の医療・介護・保健事業に関する研究会」

- 広域連合の専門嘱託員（保健師）を中心に、全市町村の後期、健康づくり、介護予防の担当部署に呼びかけ、事例発表、意見交換等の場を設けている。（H27 年度～）

- H30 年度は、3 回開催予定

（内容は、本年度保健事業説明、保健事業に関する講演等）